

令和3年度 東北地区知的障害者福祉協会 定時総会・施設長連絡会  
開催要綱

1 開催趣旨

今後、共生社会の実現のためには障害者の人権擁護、意思決定支援、合理的配慮など取り組みが重要となります。

障害者基本法及び障害者基本計画の掲げる共生社会の実現を目指すためには、地域社会、行政、企業・団体等の多様な主体が連携して、幅広い広報・啓発活動を計画的に推進することが必要です。「障害者基本計画（第6次）」では、「地域共生社会に向けた取り組み」が示され、障害の有無にとらわれることなく、支え合いながら社会で共に暮らしていくことが日常となるように理解促進を推進しています。その中で、障害理解が進まない現実もあり、「ノーマライゼーションの原理の具現化」を進めるための課題を研修テーマとし、障害のある方が地域社会で生き生きとその人らしい人生を過ごすことが当たり前の社会を創設することにより、共生社会の実現が可能となります。

今回は、改めて障害者の方々が地域の中で生き生きと、希望の持てる人生の実現のための振り返りの一助として開催いたします。

- 2 主催 東北地区知的障害者福祉協会 宮城県知的障害者福祉協会  
3 共催 宮城県知的障害児者生活サポート協会  
4 期日 令和3年 6月11日（金）  
5 会場 オンライン開催  
6 対象 東北地区知的障害者福祉協会 会員施設・事業所の施設長、管理者等  
7 定員 300名  
8 参加費等 無料  
9 プログラム

13:00～13:20 開会式

開催県挨拶 宮城県知的障害者福祉協会 会長 二階堂 明彦  
主催者挨拶 東北地区知的障害者福祉協会 会長 井上 博

13:30～14:30 講演 「共生社会とノーマライゼーションの具現化」  
学校法人 東北学院大学 常任理事 阿部 重樹 氏

14:40～16:00 東北地区知的障害者福祉協会 定期総会

閉式の言葉 東北地区知的障害者福祉協会 副会長 桜田 星宏